

平成 19 年度園芸相談集計記録及び自然体験活動対応実績

富澤まり

園芸相談

平成 19 年度の植物に関する相談の受付記録を記す。受付件数は 4,976 件で、その内容を表 1 ～ 3 と図 1 ～ 4 に示した。

相談件数は、前年度と比べて 1,000 件増加した。以前は 4 月がピークだったが、ここ 3 年は 5 月が最も多くなっている。12 月が最も相談件数が少なくなり、多い月と少ない月の違いが 3 倍となった。昨年は最少月の 8 月と最大月の 5 月の差が 6 倍であったので、今年は月によらず平均して相談があったように思われる。

今年度の特徴としては、秋から冬にかけてのツツジ類の返り咲きの相談等が多く見受けられた。これは、地球温暖化についてマスコミに多く報道され、一般の方が身の回りの植物の変化に敏感になったからではないかと思われる。しかし、ツツジ類の返り咲きは以前からよく観察されるものであり、温暖化と強く関連づけられるものではないと資料類からは推測される。

表 1. 月別・方法別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話	420	640	579	492	282	366	409	331	207	215	213	282	4,436
来園	21	21	24	8	7	17	42	51	1	7	100	46	345
手紙	3	5	2	4	2	5	4	2	3	9	0	2	41
その他	138	1	1	1	0	4	0	0	0	1	8	0	154
計	582	667	606	505	291	392	455	384	211	232	321	330	4,976

春のグリーンフェアはその他、秋のグリーンフェアと洋ランクリニックは来園に記入

表 2. 月別・内容別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
庭木	77	129	97	96	53	50	62	41	44	43	53	34	779
花木	153	203	155	153	81	71	94	97	36	45	57	79	1224
盆栽	1	0	0	5	0	0	6	9	0	3	0	0	24
果樹	39	62	38	43	18	24	47	54	30	33	19	34	441
草花	159	117	156	116	65	126	139	89	65	44	49	91	1216
山野草	17	17	11	4	8	17	5	2	6	4	1	5	97
ハーブ・野菜	16	21	52	14	12	20	18	9	3	4	6	12	187
観葉植物	44	44	35	20	13	26	36	29	12	10	10	12	291
サボテン・多肉植物	8	18	5	11	0	9	15	8	5	7	0	12	98
洋ラン	25	24	18	11	6	13	15	19	3	14	109	26	283
ラン（洋ラン以外）	4	9	6	6	10	4	0	1	0	4	3	6	53
その他	39	23	33	26	25	32	18	26	7	21	14	19	283
計	582	667	606	505	291	392	455	384	211	232	321	330	4,976

表 3. 月別・作業別受付件数

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
管理	211	209	184	152	81	110	115	123	79	68	108	85	1525
植付・植替	80	57	71	37	17	62	88	32	20	24	44	66	598
病害虫	69	88	88	102	41	55	43	50	24	26	32	34	652
繁殖	43	54	55	25	26	24	23	35	15	13	11	14	338
整枝・剪定	46	85	56	65	18	27	36	40	18	10	25	25	451
施肥	22	35	44	28	24	19	28	32	11	13	47	18	321
その他	111	139	108	96	84	95	122	72	44	78	54	88	1091
計	582	667	606	505	291	392	455	384	211	232	321	330	4,976

受付方法別に見ると、例年通り電話が 89 % と最も多かった (図 2) 。内容別に見ると、草花、花木、庭木の順で (図 3) 、作業別では、管理、病害虫、植付・植替、繁殖についての相談が多かった (図 4) 。

また、今年度から火曜日の園芸相談を栽培・展示課が受け付けることになった。これにより、企画広報係の技師のみでなく、現場で業務を行う職員も一般の方からの相談に直接答えるようになり、サービスが充実したものと思われる。

自然体験活動

表 4 には、平成 19 年度に対応した自然体験活動の件数を示した。実施団体は 25 団体で、昨年の 19 団体より増加したが、1 件あたりの参加者が少なく、人数は 2,085 名から 1,370 名へ減少した。ボランティア対応が昨年の 3 団体から 15 団体へ増加した。ボランティアの活動の場が広がっていることを感じさせる。

今後も、時期や方法を考慮し、タイミングを逃さず体験学習プログラムの PR を行い、引き続き体験プログラムの見直しを行って利用の促進を図る必要がある。

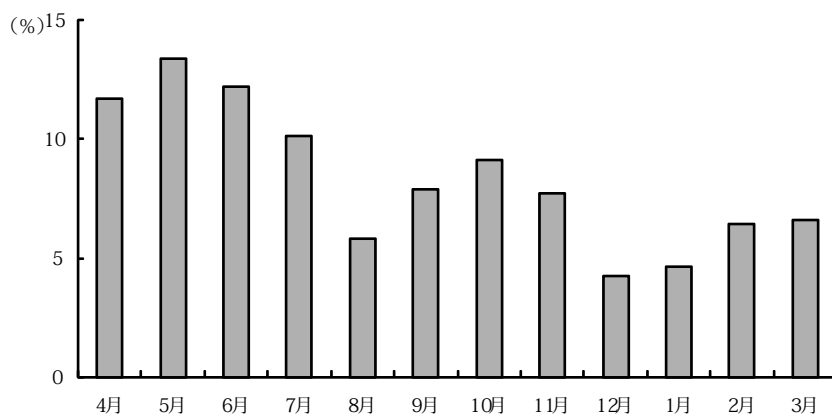


図 1. 月別割合



図 2. 受付方法別割合

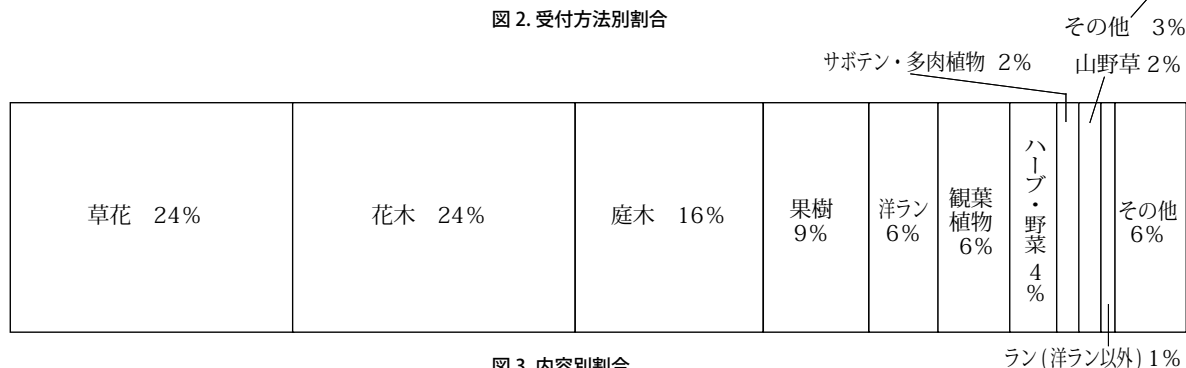


図 3. 内容別割合

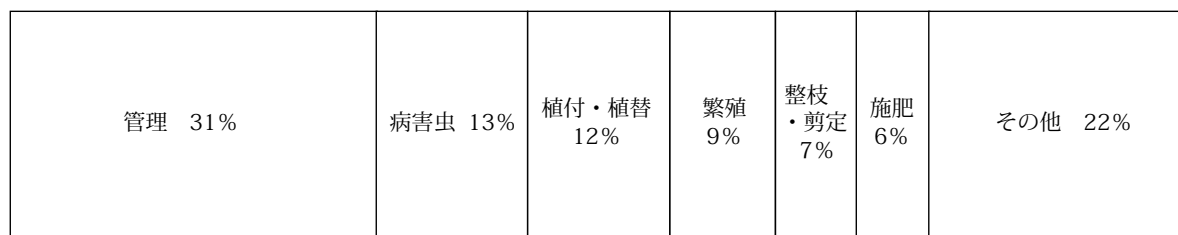


図 4. 作業別割合

表 4. 平成 19 年度自然体験活動実績

小学校	中学校 (含特別支援学校)	その他	計
14 校 (1,088 名)	0 校 (0 名)	11 団体 (大人 264 名、子ども 18 名)	25 団体 (1,370 名)
うち			
職員対応		19 団体、647 名	
ボランティア対応		15 団体、540 名	
実施団体が用意した講師による指導		0 団体、0 名	

* その他の内訳

高校、短大等 7(大人 126 名、子ども 18 名)

子ども会 0

公民館 1(大人 11 名)

その他公共団体 3(大人 127 名)